



伊豆市議会だより

No.54

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906 **2017.11.1発行**



伊豆市総合防災訓練
(中伊豆中学校)

目次

■ 9月定例会の概要	2
■ 一般質問	7
■ 請願	11
■ 12月定例会の予定 他	12

平成28年度決算の認定

一般会計の歳出総額は、
163億329万円でした。



平成28年度各会計決算総括表

会計名		歳入	歳出	差引き額
一般会計		173億7,476万円	163億329万円	10億7,147万円
特別会計・企業会計	公共用地取得事業	180万円	180万円	0万円
	国民健康保険	51億3,533万円	49億9,192万円	1億4,341万円
	後期高齢者医療	3億7,820万円	3億7,546万円	274万円
	介護保険	31億8,152万円	30億3,839万円	1億4,313万円
	簡易水道事業	1億7,524万円	1億597万円	6,927万円
	下水道事業	14億3,449万円	13億7,099万円	6,350万円
	農業集落排水事業	1億4,677万円	1億3,565万円	1,112万円
	財産区（7財産区）	638万円	66万円	572万円
	水道事業	9億2,421万円	6億3,306万円	2億9,115万円
	温泉事業	9,952万円	5,299万円	4,653万円

各常任委員会の審査では

次のような質疑がありました

◆一般会計歳入歳出決算の認定

問 市道維持補修事業は地区要望に対応したものか、また、要望に対してどのくらいの執行率だったのか。

答 建設課に対する地区要望は241件、一般補修箇所情報182件に対し実施したものは、地区要望54件、補修箇所情報93件、執行率46.1%でした。地区要望、情報提供に対して、職員が緊急性を確認してすぐできるものか用地の取得が絡むものか判断して対応しています。

問 道の駅基本計画策定及び基本設計業務委託について、二階建ての建物で何ができるのか、また、周辺の飲食業者に考慮しているのか。

答 駐車場から入ったところが二階部分、下に降りて一階があるという形で、物販販売、レストラン、観光案内を主なものとして設けて

います。また、周辺との競合ではなく、いかに観光情報を発信して周辺に波及効果を出すかをコンセプトに、取り組みを進めていきたいと考えています。

問 市税の収納について、滞納分の徴収率が良くないが、訪問による徴収は効果がないから行っていないのか。

答 滞納分については、現年度分がどうしても収められなくて滞納になっていることから、すぐには納付につながってきません。滞納分についても引き続き力を入れていきますが、11月は滞納整理強化月間ですので、それに合わせて訪問することも検討しています。

問 敬老会事業等補助金について、敬老会の対象者の人数、出席者及び出席率は。

答 平成28年度の75歳以上の対象者は6千424人、前年度比で39人の増、出席率は37.7%です。以前旧町単位で実施していた時が26.5%ですので、10%以上増えていることとなります。



問 防災対策事業で、小下田のヘリポート整備工事について、ドクターヘリの離発着はいつからできるのか。また、安全な離発着はできるのか。

答 芝生の養生と法面の根固めができたのち、ドクターヘリの利用前に県に協力をお願いして離発着の訓練を行います。ヘリポートは安全に離発着できる構造になっていますが、実際の利用を想定して道路の封鎖や交通誘導員の配備など消防署と検討しています。

問 美術館建設準備委員会について、平成28年度はどのような事業を行ってきたか。

答 準備会を5回開催したほか、各地区を回り美術館建設についての意見を伺ったり、フォーラムを開催し、建設規模や候補地等の議論を重ねてきました。建設候補地の適地は作品ゆかりの地、修善寺温泉が適地であろうという答申をいただきました。

◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 介護認定を受けていて、サービスを利用していない人はどの位いるのか。

答 平成28年度の介護認定者数は1千623人で、介護サービスの受給者数は1千391人です。で、15%の方が認定を受けてもサービスを利用していないことになっていますが、総合事業のサービスを使っている方もいますので、利用していない方の割合は少し減ると思います。また、このサービスをj利用していない方については、包括支援センター等で家庭訪問や状

況把握調査を行っています。

◆農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定

問 伊豆市の農業集落排水事業は、設備の更新など今後どのようにする考えか。

答 市内5か所の処理場は、間もなく更新が必要になります。今後については更新の際、流域下水道・公共下水道へ接続して処理をなくす、集落排水の施設を統合する、合併浄化槽に変換していくなど地域の特性にあわせて検討しているところ です。

討 論

平成28年度一般会計

歳入歳出決算の認定

反対討論

(西島信也議員)

本決算の一番の問題点は、文教ガーデンシティ構想の無駄な支出であります。

新中学校実施設計委託料や土地

取得業務委託料他合わせて1億円をはるかに超えた大金が、何の成果もなく消えてしまいました。

市民に多大な損害を与えたにもかかわらず、市長を筆頭に誰一人として責任をとろうとしない。伊豆市はいつからこのような無責任体質になってしまったのか、はなはだ残念であります。

賛成討論

(小長谷順二議員)

市税や交付税が少しずつ減少していく現状において、必要な予算を確保するために徴収率の向上と、滞納額の削減に向けて強力な施策を検討・実施していただきました。

そして人口減少対策や観光・産業の振興策、ふるさと納税の推進など、税収を上げる投資的な事業に力を注ぎ、次年度の予算に反映されるように願っています。また、公共施設の保有適正化などにも努められ、市民が末永く安全・安心に暮らせるまちづくりを期待しています。



平成29年度補正予算

◆一般会計補正予算(第4回)

主なものとして、市内公的病院等の医療体制整備のための補助金2億1千388万円、オリンピック・パラリンピック会場へのアクセス道路沿線の景観眺望を回復させるための修景伐事業1千253万円、市道横瀬大平線改良工事費1千500万円のほか、基金積立金2億1千564万円など、総額4億9千31万円の増額するもの。

◆一般会計補正予算(第5回)

衆議院の解散に伴う選挙の執行費用2千160万円、職員の退職に伴う臨時職員賃金105万円など、総額2千265万円を増額するもの。

平成29年度一般会計は、
総額171億3,769万円
となりました。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

平成28年度給付費の確定に伴う精算により、超過額を国や県などにそれぞれ返還するため、1千577万円を増額するもの。

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

平成28年度介護給付費等の確定に伴う精算により、超過額を国や県などにそれぞれ返還するため、8千183万円を増額するもの。

◆下水道事業特別会計補正予算(第1回)

農業集落排水区域の流域下水道区域への編入計画の見直しに伴い616万円減額するもの。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)

処理場の修繕工事のために1千160万円を増額する一方、下水道事業特別会計と同様、農業集落排水区域の流域下水道区域への編入計画の見直しに伴い1千758万円を減額するもの。

◆温泉事業特別会計補正予算(第1回)

源泉水中ポンプ入替えに伴う資産の一括償却、老朽化した配湯管の計画的な敷設替の実施などで1千232万円を増額するもの。

報告

◆平成28年度伊豆市一般会計予算の継続費精算報告

◆平成28年度伊豆市健全化判断比率の報告

◆平成28年度伊豆市資金不足比率の報告

条例の改正

◆伊豆市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例の一部改正

指定管理者の指定に関し、施設設置条例制定前においても指定管理者の候補者選定の準備行為を可能とするもの。

◆伊豆市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターの職員の研修に関する基準を改正するもの。

◆伊豆市都市公園条例の一部改正
都市公園法施行令の一部改正に伴い、都市公園に設ける運動施設の割合を条例で定めるもの。

◆伊豆市特定用途制限地域に関する条例の一部改正
建築基準法の一部改正に伴い、条項ずれを改めるもの。

その他

◆指定金融機関の指定
平成30年1月から2年間、指定金融機関を三島信用金庫に指定するためのもの。

◆工事請負契約の締結
大平地区の下水道管渠を敷設するため、契約の締結に議会の議決を必要とするもの。

◆人権擁護委員候補者の推薦
任期満了に伴い、植木和久氏が

候補者になることに同意するもの。

任期は、平成30年1月1日から3年間。再任。

◆財産の取得

消防団消防ポンプ自動車1台を取得するため、契約の締結に議会の議決を必要とするもの。

意見書・決議

◆道路整備に係る補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書

【提出先】 参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

◆森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書

【提出先】 参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣

◆小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書

【提出先】 内閣総理大臣、文部科学大臣、経済産業大臣

◆修善寺東こども園の早期建替えによる新こども園整備を求める決議

修善寺東こども園の建替えに合わせた新こども園の整備については、保護者からの要望も強く、早期整備の必要性が高いと判断する。

【提出先】 市長

討 論

伊豆市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部改正

反対討論 (鈴木正人議員)

2つの点において、この改正案には問題が残ります。1つ目は、条文中の「あらかじめ指定管理者の候補者を選定する準備行為が必要な場合」の定義が明瞭でないこと。2つ目は、この改正案が「通則」において改正する提案となっていないことであり、地方自治法244条では、まず公の施設の設置管理条例を議会の議決をもって定め、その後指定管理者を選定するこ

ととの整合性が欠落しているからです。

賛成討論 (下山祥二議員)

本条例の一部改正は、平成31年4月にオープン予定の道の駅の指定管理者の候補者に計画段階から関わってもらい、その事業をスムーズに進めることを目的とするものであり、何ら問題ないと判断し賛成します。

各常任委員会の審査では

次のような質疑がありました

◆一般会計補正予算(第4回)

問 ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業の具体的な内容は。

答 事業名のとおり少子化を突破していくために、子育て支援事業を広く市内外の方に伝えていくため、子育て情報発信の機関紙などを作成し、店舗に置いていただいたり、電車のつり広告に入れるなど伊豆市の良さを知ってもらいたいと考えています。他にも、父親料理教室の開催や、子連れでイベントなどに参加した時の遊具の購

入なども考えています。

問 市道横瀬大平線改良工事の工事箇所とその内容は。

答 立野の遠藤橋南側の歩道整備60メートル、及び湯川橋の工事に伴い民地と道路が隣接する部分の整備をするものです。

問 食肉加工センター廃棄物処理委託料の増額の内容は。

答 年度当初、県費補助財源とした減容化施設で処理する予定だった食肉加工センターから出る残渣について、県との確認の中で減容化施設で処理できなくなり、その分を廃棄物処理するためです。

問 市内公的病院等補助金について補助する事業の内容は。

答 伊豆赤十字病院は、二次救急を担っているため、非常勤医師や技師を確保するための費用です。中伊豆温泉病院は、市内で唯一整形外科手術ができる病院のため、手術をする非常勤の医師と、一次救急のための医師の確保に対する補助になります。

平成29年第3回(9月)定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口繁	星谷和馬	間野みどり	鈴木正人	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
----	------	-------	-----	------	-------	------	------	------	-----	------	-------	-------	------	-----	-----	------

決算の認定

平成28年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
平成28年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度伊豆市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度伊豆市温泉事業特別会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度伊豆市持越財産区特別会計歳入歳出決算の認定について(他6財産区)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

補正予算

平成29年度伊豆市一般会計補正予算(第4回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

条例・その他

伊豆市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
児童発達支援事業所の早期設置及び医療的ケア児の支援に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市伊豆の国市一般廃棄物処理施設建設に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※1 ○賛成 ×反対 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません

※3 7財産区…持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊

■全会一致で可決した議案等

平成28年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成29年度伊豆市温泉事業特別会計補正予算(第1回)
平成28年度伊豆市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正について
平成28年度伊豆市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市都市公園条例の一部改正について
平成28年度伊豆市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市特定用途制限地域に関する条例の一部改正について
平成29年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)	伊豆市指定金融機関の指定について
平成29年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	人権擁護委員候補者の推薦について
平成29年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第1回)	財産の取得について
平成29年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	道路整備に係る補助率の高上げ措置の継続に関する意見書
平成29年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)	修善寺東こども園の早期建替えによる新こども園整備を求める決議

市政を問う

～一般質問～

9月定例会での一般質問は、9月7日、8日に12名の議員が行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

ヘルプカードの普及を進めませんか



(杉山 誠議員)

ヘルプカードとは、障がいのある方など、手助けを必要とする人と手助けをする人をつなぐ意思表示カードで、とりわけ知的障害などの目に見えない障がいのある方が、手助けを求めるときに役立ちます。

緊急時や災害時にも効力を発揮し、また、障がいに対する理解の促進につながりますが、いかがでしょうか。

市長 普及促進に 市答 取り組み組んでいく所存です

障がいを持つお子さんたちの親の会から、直接いらしていただき、東部地区の市町の状況を聞きました。

東部市長会においても情報提供をさせていただきます。

単独市町ごとにやるよりも広範な地域で連携でやったほうが、広域的な普及が有効であると考え、県と連携を図りながら積極的に進めてまいります。

質問

第2次総合計画の見直しについて



(山口 繁議員)

この秋から第2次総合計画の見直しに着手するということになりましたが、10カ年の基本構想と5カ年の基本計画でつくられている計画のどこをどのように見直そうとするのか。そして、昨年の4月にスタートしたばかりの計画なのになぜ今見直ししなければならないのか。

策 新たな伊豆市の建設の 総 方向性を検討 長 答 討

文教ガーデン事業の見直しに伴う、改めての検討という事になります。

基本構想に関しましては、伊豆市の将来像や重点目標、土地利用構想など、取り巻く社会潮流や今後の見直し、これまでの伊豆市の課題から導き出されたものでございますので、内容の大幅な変更は想定しておりませんが、基本計画の中で新たな施策やまちづくりを合わせて検討してまいります。

質問

地域づくり協議会の
改善を求めます



(木村建一議員)

○地域づくり協議会の区分けは、平成16年時の小学校区を原則としながら、昭和47年時の八幡、白岩小学校区を入れた理由は。

○協議会の範囲は小学校区にこだわらず、地域住民の自主性を尊重する方向に。

○世帯数にかかわらず一律500万円の補助金は、『平等の原則』から見直しが必要ではありませんか。

市長
市答

地域の将来像、市の
活性化事業との連携

地域づくり協議会について、それぞれの地域の将来像はまったく違います。また、市の事業、市の地域活性化事業との連携も視点としており、市が直轄で大きな事業をやるころとそうでないころでは当然違いがあります。従って、人数割りで均等にということではなしに、総合的に判断して、おおむね昭和初期くらいの村づくりの再生ということ旧小学校区ということをお願いしました。

質問

新たなまちづくりの
方向性について



(青木 靖議員)

第2次総合計画（H28～37）の見直し作業に入りましたが、どのような考え方で取り組んでいますか。政策への民意の反映をどのように行っていくますか。

今後の財政の見直しはどうか。とりわけ、3中学校・6小学校をいかに維持しますか。

市長
市答

多様なご意見を整理し
検討してまいります

新たなまちづくりの方向性や具体的な施策の検討を行うためには、市民の皆様の意見聴取や、学識経験者など多様な意見を整理し、まちづくりを検討してまいります。また民意がどこにあるのか市長と市議会議員が、状況認識を共有したうえで、政策議論を展開します。

総務部
長
答

市税は生産年齢の人口減少により税収は減少が見込まれます。小中学校の運営は、教育委員会と協議し、児童生徒のための学校の在り方をしっかり検討してまいります。

質問

オリンピックの
市民参加について



(森 良雄議員)

オリンピックへの市民参加をどのように考えていますか。前回の質問では、組織委員会からの指示待ちということでした。地元である伊豆市民がどのようなおもてなしをするのか、おもてなしができるのか伺いたいです。市長として、伊豆市では伊豆市民がどのようなおもてなしができるのか伺います。

産業部
長
答

伊豆市らしい
「おもてなし」を

先ず、ボランティアとしての参加が考えられます。市として都市ボランティアの募集及び育成を始めています。

市民がボランティア以外に参加できる事として、身近なまちの清掃、花植え等環境整備に参加する事も一つの「おもてなし」の心の活動と考えられます。

また「スポーツだけでなく、文化芸術や地域での世代を超えた活動、被災地への支援など、参加者自らが体験・行動し、未来につなぐ」という参画プログラムがあり、啓発を進めます。

質問

戦略的な
シティプロモーション



(小長谷順二議員)

シティプロモーションとは「地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネ

を呼び込み地域経済を活性化させる活動」と定義されていますが、この活動を一つの自治体だけで進めることは難しい状況であり、各種団体と連携していくことが成功の秘訣と考えます。この事業の現状と今後の取り組みについて伺います。

政策
総合
部長
答弁

積極的なシティプロモーション
をすすめます

先行的に市のホームページのリニューアルを行い、伊豆市に関わる情報の入り口が一元化され、多くの方が情報を得やすくなったと考えております。

産業部
部長
答弁

フィルムコミッションによる情報発信も問題点を考慮し進めていきます。受入体制の強化は日本語を含め8カ国語整備のマップを作成し、最終的に、

伊豆半島に5日から1週間滞在できるような世界的な滞在型リゾート地になれるよう積極的に進めたいと考えています。

質問

狩野川公園向かい側の
開発計画について



(星谷和馬議員)

伊豆市の玄関である狩野川公園向かい側が一部ではありますが、更地となりました。伊

豆市の発展のため、更地と横、後ろの農地と合わせ、どのように活用するかが重要です。民間企業の進出計画があると聞きましたが、市としてどのように考えているか伺います。

市長
答弁

地域の方の意向を重視した
利活用を望みます

伊豆市は、企業を誘致するための市有地がほとんど無いため、狩野川公園向かい側の土地につきましても、所有者からの申請によって市の空き物件情報登録制度に登録をいただき、ホームページにて情報の提供をしてまいりました。

産業部
部長
答弁

この土地につきましては、昨年末から店舗建設の相談を受けておりますが、地域が活性化する反面、市内

に存在する他企業との競合が考えられる場合もありますので、まず第一に地域の意向を大切にしたいと考えております。

質問

新ごみ処理施設
建設計画



(西島信也議員)

新ごみ処理場建設は、伊豆市・伊豆の国

市の2市共同で行いますが、組合管理者でもある菊地市長に、伊豆市長として質問します。

- ①日量83トン焼却ということだが、過大な見積もりではないか。見直す必要はないか。
- ②余熱利用にごみ発電を計画しており、発電装置に合計30数億円かかると言われている。十分な精査が必要と思うが、いかがか。
- ③伊豆市としての建設費・維持管理費負担の大体の目安をお答えいただきたい。

市長
答弁

所管外につき一部事務組合
にて答弁します

私は、可能な限り、議員からのご質問には答弁させていただきたいのですが、質問のご趣旨を確認させていただき。

この案件は、一部事務組合のものであり、伊豆市の所管外のものであります。その所管外である伊豆市議会では、わたくしに法的権限がなく、答弁できないということをご承知の上で、あえてご質問されているご趣旨が確認できません。

従いまして、一部事務組合において管理者として答弁いたします。

質問

伊豆市のインフラ整備
について問う

(下山祥二議員)

東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催まで既に三年を切りました。この五輪は、伊豆市の景観・観光を国内外にアピールする最大のチャンスです。これを機に伊豆市のインフラ整備全般、特に道路整備について、伊豆市の今後を見据えたものになっているのか、将来の生活・観光道路として考慮されているか。

市長
市答インフラ整備後の予測値
と私達の工夫

市内のインフラ整備については総額確保のため国や与党に要望を続けています。その中で、短期的優先順位をしっかりと見極めてもらいたいと県の方にもお願いし進めているところです。

例えば、天城北道路の天城湯ヶ島IC（仮称）の完成は西伊豆土肥と天城湯ヶ島地区の観光施設の活性化のためには極めて大きなインパクトがあります。

道路ができたから、何人来て何人買物をするという予測値だけで事業計画を組むのではなく、予測値と私達の工夫を掛け合わせて事業を進めます。

質問

九州北部豪雨から学ぶ
伊豆市の災害対策

(波多野靖明議員)

伊豆市は山に囲まれた中山間地であり、豪雨による災害は決して他人事ではありません。そこで、伊豆市の防災から見た森林整備と今後の管理、新たな取り組みについて伺います。また、災害に巻き込まれた時、命を維持していく物資として水は大変貴重です。自然水利のない、山の上の新興住宅地の対策をお伺いします。

産業部長
市答財源確保と整備計画に
沿った施業指導

国に森林整備のための貴重な財源として森林環境税をお願いしています。一方、伊豆市では、平成29年4月1日から39年3月31日までの10年間の伊豆市森林整備計画を策定し、この整備計画に基づき、市内の林業事業者の指導を行っています。民有林については森の再生事業等の補助金の活用、市有林については、大幡野地区を主な施業地として間伐を行っています。

防災監
市答

災害時における水の確保は重要であり、今後、地域の実情を考慮した上で検討していきます。

質問

地域づくり協議会支援
要綱の見直しを望む

(小長谷朗夫議員)

地域づくり協議会は、平成16年4月1日は、現在の13小学校区を基盤としています。しかし、この13小学校区は九百人余の地域から修善寺南小学校区のように五千七百人を超す地域まで様々です。これを一律に考えるのには無理があります。より設立し易くするために各地区の対象人口や世帯数等を加味した要綱の弾力化や見直しを強く望みます。

市長
市答地域づくり協議会は
人口による調整はない

地域づくり協議会の事業は、人口比による調整はしたくないと思っています。新市建設は中心市街地（修善寺駅周辺）と土肥の中心部、湯ヶ島小学校周辺、八幡などの小さな拠点に投資するものです。

都市計画の見直しにより、牧之郷は市の直轄事業としてこれから入ります。

新市建設事業に目処が立ったときに地域づくり協議会のあり方も見直す余地があるかどうか考えます。

質問

タイムラインの策定・活用について



(杉山武司議員)

台風や局地的豪雨による災害を想定し、自治体や住民、防災関係

機関等が取るべき行動を時系列に整理した、事前防災計画「タイムライン」を多くの自治体は策定しています。

この計画の普及により地域の防災機関の災害対応力が向上すると期待されています。

伊豆市の管理河川の「タイムライン」策定計画を伺います。

監 井
防 答

準用河川については
データ管理ができません

伊豆市内では1・2級河川39カ所、準用河川95河川が水位観測空白河川です。

準用河川のタイムラインの策定はデータ管理ができませんので現時点では計画していません。

市 長 弁
市 答

タイムラインは準用河川ごとで作っておりませんが、例えば自主防災会ごとに作ることも有益だと思えます。これからは自主防災会単位のタイムラインを作ることも視野に入れて、準備していかねばいけないと考えます。

請 願

児童発達支援事業所の早期設置及び医療的ケア児の支援に関する請願書

【請願者】

未歩行・重度障がい児を持つ親の

自主グループ「ひだまり」

代表 岩本花奈子

【請願の趣旨】

伊豆市に住む発達遅れや障がいのある子どもとその親への早期支援のしくみは、構築されつつあり市民としても頼もしく感じています。一方で伊豆市において、障がい児やその家族が利用できるサービスや療育支援及び医療体制は不十分な状況にあります。

伊豆市内には障がい児が通所できる児童発達支援事業所がありません。そのため三島市や沼津市、清水町等のサービスを利用しなければなりません。また、重度心身障害児や人工呼吸器を装着している障がい児、その他、日常生活を営むために医療を要する状態にある障がい児（以下「医療的ケア児」）は、かかりつけ医として静岡市の病院まで通院しています。緊急時に受け入れてくれる病院も市内及び近隣の市にはありません。

私たちは、未歩行・重度障がい児の親の自主グループ「ひだまり」を立ち上げ、情報交換や

勉強会、講師を招いての※リトミック等の活動を自主的に行っています。

私たちの願いは、この伊豆市で子どもたちと安心して暮らしていくための継続した支援体制の構築と更なるサービスの充実です。

その実現のため、以下の項目を請願いたします。

【請願項目】

児童発達支援事業所の早期設置

一、地域の障がい児支援の拠点施設として障がいの種別に関わらず利用できる児童発達支援事業所の早期整備を要望します。また、専門的な支援が受けられるよう、事業所への看護師、臨床心理士、作業療法士等の専門職の配置を要望します。

二、障がい児家族の負担軽減や就労支援のため未就学児の医療的ケア児を含めた日中一時支援の併設を要望します。

三、こども園・保育園における加配職員対応の継続、必要に応じ児童発達支援との併行通園を要望します。

※リトミック

音楽を聴きながらリズムにあわせて身体を動かす、自分なりの表現をすることで、心や身体、社会性を育む音楽教育。



▲議長に請願書を提出

議会報告会実施報告書を 市長に提出しました

伊豆市議会では、5月に行われた議会報告会の実施報告書及び市民の皆様からいただいた意見などを取りまとめ市長に提出しました。また、確認する必要があるものについては回答を求めました。

実施報告書は、伊豆市のホームページに掲載し、市長から回答を得たものについては、まとまり次第ホームページに掲載します。



会派変更のお知らせ

伊豆市民ネットワークの解散により、会派が以下のとおりとなりました。

● IZU未来

青木靖、波多野靖明、
間野みどり、下山祥二、
三田忠男、小長谷順二
杉山誠



● 市民第一クラブ

永岡康司、山口繁
星谷和馬、小長谷朗夫

○ 会派に属さない議員

鈴木正人、杉山武司、
西島信也、森良雄、
木村建一



議会傍聴・視聴について

本会議はごなたでも傍聴することができま。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

12月定例会の予定

場 所 本庁2階 議場
時 間 午前9時30分～
11月30日(木) 行政報告
議案上程
12月4日(月) 一般質問
5日(火) 一般質問
7日(木) 議案質疑
20日(水) 委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

12月定例会

委員会の予定

場 所 本庁2階 委員会室
時 間 午前9時30分～
12月8日(金) 第1委員会
11日(月) 第2委員会

編集後記

来年で狩野川台風から60年、地区の老人クラブは風化させないよう慰霊の清掃を行っているそうです。

私は先日ある会合で、熊坂小にある白い慰霊碑は児童と先生が、失った友人を川原で天へ送った時の煙をイメージし、自ら造ったと聞き、その悲しみの深さを知りました。

いつ起こるかわからない天災、今自分の出来る事を確認しながらも、犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りした瞬間でした。

議会広報委員 間野みどり